



両大会の開催に向けて、さあ始めよう  
YOU GO! I GO! HERE WE GO!!

取組項目 4

## 最先端の技術を活用して情報発信する

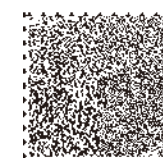
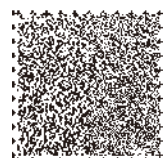
両大会の情報をいつでもどこでも入手することができるよう、選手・関係者や会場に観戦に行こうとしている人々、或いは、会場に行くことができない人々に対して、最先端の情報通信技術（ICT）を活用して大会に関する情報を提供するなど、積極的な情報発信に取り組みます。

具体的な取組例

・情報通信技術（ICT）の活用

最先端の技術を活用して、競技をLIVEで配信したり、競技会場周辺の駐車場の空き情報や天候などの情報を、オンタイムで選手や観客に伝える取組を行います。  
また、大会前から十分なPRを行うとともに、大会後も記録として活用できるようにします。

など



取組の柱 2

## 佐賀の『スポーツスタイル』との融合

\*「佐賀のスポーツスタイル」とは、年齢、性別、障がいの有無に関係なく、誰もが、自分らしくスポーツを楽しむというスタイル。

両大会の開催により、「年齢、性別、障がいの有無に関係なく、誰もが自分らしくスポーツを楽しむスタイル」が佐賀県に根付くよう取り組みます。

取組項目 1

## 県民誰もが大会に関わる仕組みをつくる

全ての県民が、大会の準備段階から大会期間中も含めて、いずれかの場面に何らかの方法で関わることは、県民みんなで大会を創り、大会を盛り上げる原動力となります。  
そのために、様々な意見を聴き、県民が参加しやすい取組を行います。

具体的な取組例

- ・県民のアイデア・ニーズの反映  
大会に関して広く県民の意見を聴く機会を設け、反映するよう努めます。
- ・県民一人ひとりがワンアクション※  
県民の誰もが、スタッフ、ゲームズメーカーや観客として直接参加したり、また、県民運動や準備活動に参加するなど、何らかの形で関わる「県民一人ひとりがワンアクション」に取り組みます。
- ・スポーツの魅力を再発見  
大会を契機に、県民が新たなスポーツの魅力を再発見し、スポーツに関心をもつことができる取組を行います。

など

※ワンアクション

何か一つ、行動に移す(大会に関わる)ということ。